

学校法人 加計学園

平成19年度事業報告

【法人全般】

I. 事業の概要（全般）

本学園は昭和36年（1961年）に創立して以来、建学の理念「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成する」に基づいて、私学として特色ある教育・研究体制の充実に努めてまいりました。

平成19年度は、

- ① 大学全入時代へ突入しましたが、この18歳人口の減少期こそ、教職員が心を一つにして、私学でなければならない教育の実践が社会に役立つ人材を育成するという強い使命感のもと事業に取り組んだ結果、「3大学合同教育改革プログラム意見交換会」の実施、中学・高校における生徒の活躍、専門学校における国家試験又は、資格取得の合格実績等として実を結ぶことができました。
- ② 一方、経営の健全化を目指して、資産の効率的な運用により運用益増を図り、また、人事制度等諸制度の見直し、業務の効率化に努めるとともに、経費の節減、負債の減少など、財務体質の強化に努め、財務情報を開示しました。
- ③ 学園50周年記念事業の一環として、加計美術館4階に加計グループ創立者加計勉記念コーナーを新設しました。
- ④ 法人本部では、中学校及び高等学校の生徒募集戦略の強化を図るため、中高広報室を設置しました。また、第二総合計画室を特命事業推進室に変更し、関連事業及び特命事項を行う部署としました。その他、組織の見直しを行いました。

II. 法人の概要

1. 理事・監事・評議員

（平成19年5月1日現在）

区分	定数	現員			備考
		常勤	非常勤	計	
理事	9～13	6	6	12	
監事	2		2	2	
評議員	23～32	25	6	31	

（単位：人）

2. 専任教職員の配置状況

（平成19年5月1日現在）

設置校名	教員								事務職員	合計	備考
	学 （校） 長	副学 （校）長 /教頭	教 授 （論）	准 教 授	講 師	助 教	助 手	計			
岡山理科大学	1	3	167	64	39	7	2	283	200	483	
倉敷芸術科学大学	1	1	72	21	13	7	3	118	58	176	
千葉科学大学	1	2	49	24	16	7	9	108	49	157	
岡山理科大学附属高等学校	(1)	4	84					88	16	104	※
岡山理科大学附属中学校	(1)	1	15					16	3	19	※
岡山理科大学専門学校	1	1	14					16	13	29	
玉野総合医療専門学校	1	2	27					30	8	38	
倉敷芸術科学大学専門学校	1	1	7					9	3	12	
合計	6	15	435	109	68	21	14	668	350	1,018	

※岡山理科大学附属高等学校長、岡山理科大学附属中学校長は、岡山理科大学教授と兼務

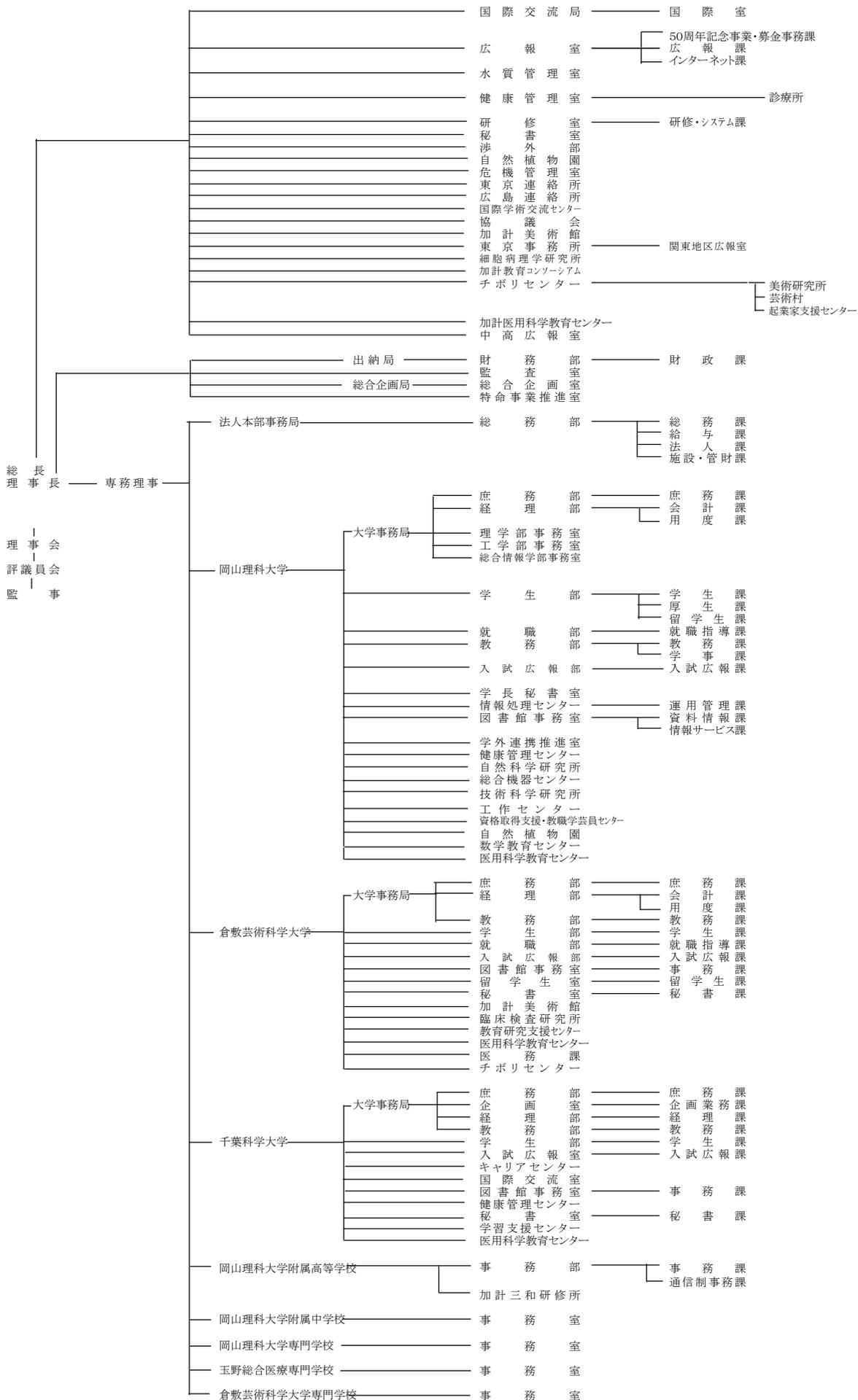
（単位：人）

3. 設置校

岡山理科大学 (岡山市理大町1-1)	理学研究科 工学研究科 総合情報研究科 理学部 工学部 総合情報学部
倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)	芸術研究科 産業科学技術研究科 人間文化研究科 芸術学部 産業科学技術学部 国際教養学部 生命科学部 芸術研究科(通信制) 産業科学技術研究科(通信制) 人間文化研究科(通信制) 産業科学技術学部(通信教育課程) 国際教養学部(通信教育課程)
千葉科学大学 (千葉県銚子市潮見町3)	薬学部 危機管理学部
岡山理科大学附属高等学校 (岡山市理大町1-1)	全日制課程、通信制課程
岡山理科大学附属中学校 (岡山市理大町1-1)	
岡山理科大学専門学校 (岡山市半田町8-3)	工業専門課程、商業実務専門課程、文化・教養専門課程、 文化・教養一般課程
玉野総合医療専門学校 (玉野市築港1丁目1-20)	医療専門課程、教育・社会福祉専門課程
倉敷芸術科学大学専門学校 (倉敷市連島町西之浦2640)	衛生専門課程、文化・教養専門課程

4. 事務組織図

(平成19年5月1日現在)



5. 沿革（抜粋）

- 昭和30年 4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年 9月 学校法人加計学園認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年 4月 岡山電機工業高等学校開校（全日制） 初代校長に神崎栄一郎就任
- 昭和39年 1月 岡山理科大学設置認可
岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を岡山理科大学附属高等学校と改称
- 4月 岡山理科大学開学（理学部） 初代学長に加計勉就任
- 昭和42年 4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長として、内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程を設置
岡山理科大学附属高等学校第3代校長として中尾寿夫就任
- 昭和50年 4月 岡山高等建築専門学院設置認可
5月 岡山高等建築専門学院開校（建築学科夜間部定時制） 初代校長に中尾寿夫就任
- 昭和51年 4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により岡山高等建築専門学校と改称
- 昭和53年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）を設置
- 昭和54年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程に機械理学専攻、電子理学専攻を増設
- 昭和55年 4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任
岡山理科大学附属高等学校第4代校長として、松本卓三就任
岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長として片山誠二就任
- 7月 寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に加計勉就任
- 昭和59年 4月 岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
- 昭和61年 4月 岡山理科大学工学部設置
岡山理科大学附属高等学校第5代校長として、三宅寛就任
岡山高等建築専門学校を岡山理科大学専門学校と改称
- 平成 2年 4月 岡山理科大学第4代学長に、加計勉就任
岡山理科大学大学院の理学研究科を改組し、工学研究科を設置
- 平成 4年 1月 岡山理科大学附属高等学校第6代校長として、加計晃太郎就任
4月 岡山理科大学附属高等学校第7代校長として、渡辺己巳生就任
- 平成 6年12月 倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に谷口澄夫就任
- 平成 7年 4月 倉敷芸術科学大学開学
- 平成 9年 4月 岡山理科大学総合情報学部を増設
12月 玉野看護福祉総合専門学校設置認可
- 平成10年 4月 玉野看護福祉総合専門学校を開校 初代校長に金政泰弘就任
岡山理科大学附属高等学校第8代校長として、三木輝知就任
岡山理科大学専門学校第3代校長として、村上侑就任
- 平成11年 4月 倉敷芸術科学大学第2代学長に土井章就任
倉敷芸術科学大学大学院開設
- 平成12年 4月 倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更
岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
- 平成13年 1月 学校法人加計学園第2代理事長・総長に加計晃太郎就任
4月 岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科設置
倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に博士（後期）課程設置

- 平成13年 4月 玉野看護福祉総合専門学校を、玉野総合医療専門学校に名称変更
岡山理科大学第5代学長として、山村泰道就任
- 9月 岡山理科大学附属中学校設置認可
- 平成14年 4月 倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置
岡山理科大学附属高等学校第9代校長として、北尾正幸就任
岡山理科大学専門学校第4代校長として、逢坂一正就任
岡山理科大学附属中学校開校 初代校長として、善木道雄就任
- 平成15年 4月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部（通信教育課程）、国際教養学部（通信教育課程）を
設置
- 11月 千葉科学大学設置認可
- 平成16年 3月 倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
- 4月 岡山理科大学第6代学長に宮垣嘉也就任
倉敷芸術科学大学生命科学部を設置
倉敷芸術科学大学国際教養学部募集停止
倉敷芸術科学大学国際教養学部（通信教育課程）募集停止
千葉科学大学開学 初代学長に平野敏右就任
倉敷芸術科学大学専門学校開校 初代校長に岡本繁通就任
- 平成17年 4月 岡山理科大学工学部知能機械工学科を設置
岡山理科大学工学部福祉システム工学科募集停止
倉敷芸術科学大学第3代学長に添田喬就任
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部起業学科（通信教育課程）募集停止
岡山理科大学附属高等学校第10代校長に橋爪道彦就任
岡山理科大学附属中学校第2代校長に新倉正和就任
岡山理科大学専門学校第5代校長に圓堂稔就任
玉野総合医療専門学校第2代校長に岡田茂就任
- 平成18年 4月 岡山理科大学工学部応用化学科をバイオ・応用化学科に名称変更
倉敷芸術科学大学生命科学部生命動物科学科を設置
千葉科学大学薬学部薬学科を4年制から6年制に変更及び薬科学科を設置
- 平成19年 4月 岡山理科大学工学部生体医工学科を設置
岡山理科大学総合情報学部建築学科を設置
岡山理科大学工学部電子工学科を電気電子システム学科に名称変更
岡山理科大学総合情報学部コンピュータシミュレーション学科募集停止
倉敷芸術科学大学専門学校第2代校長に伊藤敏夫就任
岡山理科大学大学院理学研究科修士課程臨床生命科学専攻設置届出
倉敷芸術科学大学芸術学部美術工芸学科、デザイン学科、産業科学技術学部観光学科
設置届出
倉敷芸術科学大学芸術学部映像・デザイン学科、産業科学技術学部コンピュータ情報
学科、起業学科の名称変更届出
- 6月 倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科設置届出
倉敷芸術科学大学専門学校を倉敷 食と器 専門学校に名称変更届出
- 平成19年 7月 千葉科学大学薬学部動物生命薬科学科設置届出
岡山理科大学理学部動物学科設置届出
- 12月 千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科設置認可
- 平成20年 1月 岡山理科大学附属高等学校電気情報科設置認可

Ⅲ. 各事業の概要

1. 国際交流関係

(1) 教育交流協定の状況

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、内モンゴウ智力引進外語專修学院、吉林国際語言文化学院、北京平成日本語学校、山東青州さくら日本語学校、成都瀨川日本語学校、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市民族文化芸術職業学校、北京市求实職業学校	15校
韓国	慶一学園、金剛学園（永同大学、亨硯高校）、鶴山学園（東ソウル大学）金龍学園（徳園女子高校）（徳園芸術高校）、桂林学園（正明高校）、清錫学園（清州大学）、純心教育財団（純心高校）、湖西学園（湖西大学）、江原大学、金泉大学、韓国防災協会	11校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理技術学院、海山高級工業職業学校、治平高級中学	9校
アメリカ	ライト大学、カリフォルニア大学バークレー校、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学	6校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・バリーリッダヤーラヤ	3校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	ブリュッセル自由大学、ゲント王立美術アカデミー	2校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
タイ	パトゥムワン・デモンストレーション・スクール	1校

(2) 教育交流協定校との交流プログラム

受け入れ

- ①（中国）山東青州さくら日本語学校理事長ほか2名が来学 (H19.4.9～4.12)
- ②（タイ）パトゥムワン・デモンストレーション・スクール（高校）進路部長ほか3名が調印式のため、来学 (H19.4.10～4.12)
- ③（台湾）致理技術学院学生研修団が来学 (H19.5.28～6.6)
- ④（アメリカ）フィンドリー大学学生訪日研修団が来学 (H19.6.25～7.18)
- ⑤（ブラジル）パラナ連邦大学・カトリカ大学学生訪日研修団が来学 (H19.6.25～7.18)
- ⑥（アメリカ）ライト大学学生訪日研修団が来学 (H19.6.25～7.18)
- ⑦（台湾）金甌女子高級中学（高校）学生研修団が来学 (H19.7.2～7.11)
- ⑧（韓国）慶一学園高校生訪日研修団が来学 (H19.7.23～7.26)
- ⑨（台湾）南台科技大学学生訪日研修団が来学 (H19.9.25～10.4)
- ⑩（台湾）稲江科技暨管理学院学生訪日研修団が来学 (H20.1.29～1.31)
- ⑪（アメリカ）ライト大学仕事体験生計4名が来学
- ⑫（中国）北京城市学院学生訪日研修団が来学 (H19.9.28～10.7)

- ⑬ (ブラジル) パラマ連邦大学学長ほか3名が来学 (H19. 9. 17～9. 22)
 ⑭ (台湾) 致理技術学院日本語学部長ほか1名が来学 (H19. 7. 17～7. 18)

(3) 学生研修団海外派遣

- ①アメリカ研修 (ライト大学) (H19. 8. 1～8. 19)
 ②ブラジル研修 (パラナ連邦大学、パラナ・カトリカ大学) (H19. 8. 7～8. 29)
 ③アメリカ研修 (フィンドリー大学) (H19. 8. 22～9. 14)
 ④台湾研修 (南台科技大学) (H19. 8. 5～8. 11)

(4) その他

- ① (中国) 陝西省大学生日本語弁論大会優勝者訪日団計4名が来学 (H19. 4. 19)
 ② (アメリカ) ハーバード大学研修生1名が来学 (H19. 6. 16～8. 10)
 ③ (台湾) 台北商業技術学院学長ほか3名が来学 (H19. 8. 28)
 ④ (韓国) 加計学園韓国支局長ほか1名が来学 (H19. 6. 5～6. 8)

[協定締結]

- (中国) 中国管理軟件学院と教育交流協定締結 (H19. 4. 1)
- (中国) 北京城市学院と教育交流協定締結 (H19. 6. 12)
- (中国) 北京市実美職業学校と教育交流協定締結 (H19. 6. 12)
- (中国) 北京市民族文化芸術職業学校と教育交流協定締結 (H19. 6. 12)
- (タイ) パトゥムワン・デモンストレーション・スクールと教育交流協定締結 (H19. 7. 20)
- (台湾) 国立海山高級工業職業学校と教育交流協定締結 (H19. 7. 26)
- (台湾) 私立治平高級中学と教育交流協定締結 (H19. 7. 26)
- (スリランカ) ワヤンバ・ロイヤル・カレッジと教育交流協定締結 (H19. 10. 17)
- (スリランカ) マリヤデワ・カレッジと教育交流協定締結 (H19. 10. 17)
- (スリランカ) マリヤデワ・バーリカ・ウィッダヤーラヤと教育交流協定締結 (H19. 10. 17)
- (中国) 北京求实職業学校と教育交流協定締結 (H20. 2. 29)
- (韓国) 学校法人信泉学園と教育交流締結 (H20. 3. 17)

(5) 留学生在籍者数

(平成19年5月1日現在)

大 学 名		人 数	国 籍 別
岡山理科大学	大学院	14人	中国：10 ベトナム：2 韓国：1 マレーシア：1
	学 部	55人	中国：48 マレーシア：7
	研究生	0人	
	計	69人	
倉敷芸術科学大学	大学院	7人	中国：7
	学 部	59人	中国：54 韓国：4 インドネシア：1
	研究生	2人	中国：2
	別 科	20人	中国：20
計	88人		
千葉科学大学	学 部	92人	中国：80 韓国：9 ジンバブウェ：1 コンゴ民主共和国：1 スリランカ：1
	研究生	1人	中国：1
	計	93人	

2. 財務關係資料

■ 受託研究、共同研究、科学研究費補助金

学部等名	受託 研究	共同 研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	26件	17件	35件	71,070,000円
理学部(含自然科学研究所)	13件	5件	18件	25,520,000円
工学部	9件	9件	10件	33,810,000円
総合情報学部	4件	3件	7件	11,740,000円
倉敷芸術科学大学	2件	7件	2件	4,480,000円
芸術学部	1件	1件	1件	3,520,000円
産業科学技術学部		6件		
生命科学部	1件		1件	960,000円
千葉科学大学	4件	1件	13件	20,560,000円
薬学部	2件		7件	12,060,000円
危機管理学部	2件	1件	6件	8,500,000円
岡山理科大学専門学校	4件			
倉敷芸術科学大学専門学校	1件			

3. 決算概要

(1) 資金収支計算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	15,523,313,073
手数料収入	241,444,210
寄付金収入	128,304,400
補助金収入	2,171,472,266
資産運用収入	207,609,601
資産売却収入	405,225,000
事業収入	110,473,818
雑収入	349,386,091
借入金等収入	692,840,000
前受金収入	2,258,925,000
その他の収入	3,301,730,884
資金収入調整勘定	△ 3,047,431,436
前年度繰越支払資金	18,196,015,151
計	40,539,308,058

支出の部

科 目	金 額
人件費支出	11,386,142,982
教育研究経費支出	3,656,325,867
管理経費支出	1,109,257,815
借入金等利息支出	221,253,932
借入金等返済支出	1,168,378,400
施設関係支出	165,611,273
設備関係支出	402,827,915
資産運用支出	3,043,451,824
その他の支出	871,800,126
資金支出調整勘定	△ 460,983,177
次年度繰越支払資金	18,975,241,101
計	40,539,308,058

(2) 消費収支計算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

消費収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金	15,523,313,073
手数料	241,444,210
寄付金	148,718,045
補助金	2,171,472,266
資産運用収入	207,609,601
資産売却差額	105,225,000
事業収入	76,474,640
雑収入	349,386,091
帰属収入合計	18,823,642,926
基本金組入額合計	△ 111,012,192
消費収入の部合計	18,712,630,734

消費支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費	11,399,342,632
教育研究経費	5,753,328,954
管理経費	1,609,836,595
借入金等利息	221,253,932
資産処分差額	42,955,616
徴収不能額	5,305,255
消費支出の部合計	19,032,022,984
当年度消費支出超過額	319,392,250
前年度繰越消費支出超過額	5,175,273,254
翌年度繰越消費支出超過額	5,494,665,504

(3) 貸借対照表 (平成20年3月31日)

資産の部		(単位: 円)
科 目	金 額	
固定資産	65,507,141,132	
有形固定資産	58,875,405,666	
その他の固定資産	6,631,735,466	
流動資産	20,653,504,639	
資産の部合計	86,160,645,771	

負債の部

科 目	金 額
固定負債	12,569,270,547
流動負債	3,636,194,987
負債の部合計	16,205,465,534

基本金の部

科 目	金 額
基本金の部合計	75,449,845,741

消費収支差額の部

科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	△ 5,494,665,504
消費収支差額の部合計	△ 5,494,665,504
科 目	金 額
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	86,160,645,771

(4) 財産目録 (平成20年3月31日)

財産目録		(単位: 円)
科 目	金 額	
一 資産額		
(一) 基本財産	65,277,852,162	
1. 土地	15,332,324,322	
借地権	388,140,000	
2. 建物	28,593,729,458	
(1) 校舎	22,751,302,629	
(2) 図書館	436,371,128	
(3) 体育館	2,543,330,077	
(4) 寄宿舍	433,703,233	
(5) 倉庫	25,645,820	
(6) その他	2,403,376,571	
3. 建設仮勘定	980,000	
4. 構築物	2,455,834,856	
5. 図書	6,280,475,133	
6. 教具・校具・備品	6,202,418,341	
7. 車両運搬具	9,643,556	
8. 積立金	3,814,306,496	
9. 特定資産	2,200,000,000	
(二) 運用財産	20,882,793,609	
1. 預金、現金	18,975,241,101	
2. 出資金	68,059,400	
3. 有価証券	1,069,362,377	
4. 未収金	524,395,936	
5. 長期貸付金	0	
6. 仮払金	2,708,430	
7. 差入保証金	161,229,570	
8. 前払金	80,009,281	
9. 貯蔵品	1,787,514	
合 計	86,160,645,771	
二 負債額		
1. 固定負債	12,569,270,547	
(1) 長期借入金	11,182,182,900	
(2) 学校債	11,130,000	
(3) 退職給与引当金	1,375,957,647	
2. 流動負債	3,636,194,987	
(1) 短期借入金	538,578,400	
(2) 学校債	4,580,000	
(3) 未払金	372,827,106	
(4) 前受金	2,258,925,000	
(5) 預り金	446,730,250	
(6) 仮受金	14,554,231	
合 計	16,205,465,534	

(5) 財務比率

消費収支計算書及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示しました。

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	
分類	比 率	算式 (×100)				
貸 借 対 照 表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$	△4.0%	△4.8%	△5.9%	△6.4%
	基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	82.5%	85.5%	86.0%	86.5%
	固定比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 金}}$	94.0%	97.6%	96.3%	93.6%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	78.4%	82.1%	81.3%	79.4%
	流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	328.0%	456.3%	500.8%	568.0%
	前受金保有率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{前 受 金}}$	654.8%	624.4%	721.2%	840.0%
	総負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 産}}$	23.8%	19.9%	19.4%	18.8%
	負債率	$\frac{\text{総負債-前受金}}{\text{総 資 産}}$	20.3%	17.1%	16.5%	16.2%
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{基本金要組入額}}$	78.3%	80.7%	80.1%	80.2%
消 費 収 支 計 算 書	人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	42.7%	47.7%	58.9%	60.6%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{消 費 支 出}}$	32.4%	32.5%	30.5%	30.2%
	管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.1%	7.6%	8.9%	8.6%
	消費支出比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	73.7%	83.5%	100.3%	101.1%
	【経常経費依存率】	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	115.0%	120.0%	123.6%	122.6%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	64.1%	69.6%	81.2%	82.5%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	5.3%	0.8%	0.7%	0.8%
	補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	27.2%	26.3%	13.6%	11.5%
	基本金組入率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	36.4%	22.3%	4.8%	0.6%